

5.4 今の学級を見つめよう

1. 題材設定の理由

学級開きが終わって、2ヶ月もすると、お互いに慣れてきて当初の緊張感もなくなってくる時期である。それぞれが地を出すようになり、学級活動も停滞気味となりがちである。また、そのことに気づかないことも多い。そこで、学級を見つめさせる時間を設定した。

2. 指導のねらい

学級目標にこめられた願いを思い出して、その願いと今の学級の様子と比べて意見を交流するなかで、良い点や問題点をきちんと把握し、よりよい学級を目指して努力する態度を養いたい。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・帰りの会で学級の良さや課題について1つは見つけておくよう提案する。
本時	・みんなの願う学級と今の姿を比べて話し合い、課題についてはどう取り組んでいくのかをはっきりさせるとともに、それを受けて自分はどう取り組むのかをはっきりさせる。
事後	・話し合った内容や自分の取り組む内容を用紙に記入して、いつも目に留まるようにする。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・友だちの作文を読んで、学級の姿を見つめようという気持ちをもつことができる。	◎友だちの作文を読み、今の学級と比べて発表させる。	・感想を述べさせるなど軽くふれながら、自分たちの学級を見つめるきっかけとする。	p8の児童の感想を使う。
	課題：現在の学級の姿を振り返り、よりよい学級をつくり上げるために、何が必要かを考えよう。			
中心的な活動	・みんなの願いを実現するために、何が課題なのかをつかみ、今後どんな活動を意識して行うとよいのかをはっきりとわかる。	◎学級目標にこめられた願いを確かめる。 ◎学級目標にこめられた願う姿と現在の学級の姿を比べて、「良いところ」や「直したいところ」を話し合う。 ◎話し合った現在の学級の様子から、今後取り組んでいかなければならないことについて話し合う。	・学級目標づくりの頃に立ち返って発表させる。 ・班で話し合っ、学級全体で交流する。 ・具体的に、学級としてどんなことができるようにしたいのかをはっきりさせ、そのために必要な約束等を決めさせる。	「学級のめあてをつくろう」のページ(p6~7)を利用する。 ノート①
まとめ	・よりよい学級をつくり上げるために、自分ができることを考えてまとめる。	◎話し合っ、決まった内容を受けて、自分が努力したいことをまとめる。 ◎自分が努力したいことを交流する。	・班で交流する。 ・数人に全体の場で発表させる。	ノート③